



TITLE:

九月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

九月の天象. 天界 1924, 4(44): 333-333

ISSUE DATE:

1924-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160153>

RIGHT:

九月の天象

太陽 赤經は一〇時四二分から一二時二六分迄増加し、赤緯は北八度一八分から南二度四八分迄變化する。二十三日太陽は赤道を通過し、秋の第一の宮なる天秤宮に入る。

氣節

二百十日

二百廿日

分片

土 禾
3

社 日
支 日

在 此

十六日

日
の
神
斗

十七日

二十七

月十六日
午
后
四

下弦月、

遠地點を

水星

二一分
四分
分
乙十

觀

で
一
七
度

[illegible]

大目心黃緯、一日午前十時內合、二〇日午
前九時留、經て逆行行。二三日午前、三時昇交
點通過、七日午後五時近日點通過、二十七日午
前六時西方一七度五二分の最大離隔に達す
同日午後八時八分六秒合、月の消一、一度二分
視直徑九・八八六四二秒、光度一・六
負〇・二等、二〇日一十七日十五地球よりの
距離一億〇一百三十九萬七千餘料。

金星 一日赤經七時三十八分 赤緯北一八度一
三分 十六日赤經八時三十八分 赤緯北一六度
三十七分 双子座、蟹座、獅子座順行する曉星。
十日午後三時西方四度六分の最大離隔に達
し、曉星としての最好適の位置なり。二
十五日午後三時三十分と合、月の南の度
と合、海王星の南〇度五〇分、視直徑二
六・八等、一十九日四秒、光度負四・〇、負
三・八等、一十九地球よりの距離一億一千百
二十六萬一千餘料。

火星 一日赤經二時一〇分 赤緯南一八度
一十三分 十六日赤經二時五十五分 赤緯南一
八度一十三分 水瓶座から山羊座迄逆行する宵
星。十二日午前〇時五十五分と合、月の南五
度四分にあり。二四日午後一〇時留、經
て順行となる。視直徑二・六、一・二、留を經
四四秒、光度負二・六、負一・八等、十五日
地球よりの距離六千一百三十八萬五千餘料。
木星 一日赤經一六時三十八分 赤緯南二
四二分 十六日赤經一六時四四分 赤緯南二
一度五六分 蛇座を順行中の宵星。四日午前
一〇時上短六分午後一時三三分と合、月の
南四度三九分にあり。極直徑三五・六六、一三
九〇秒、光度負一・七、負一・六等、一十五日
地球よりの距離八億〇一百四十一萬四千餘料。
土星 一日赤經一三時五〇分 赤緯南八度五
四分 十六日赤經一三時五十六分 赤緯南八度五
七分 乙女座を順行中の宵星。三日午後〇時

二九分月と合(月の南二度三分にあり)極直徑
(十七日)一四・〇八秒 外輪の長軸(十七日)
三五・四二秒、短軸同上)九・九二秒。光度一・
〇——〇・九等、十五日地球よりの距離十五
億七十八百八十九萬九千餘粒。
天王星 十五日赤經二時三二分 赤緯南四
度五十六分魚座を逆行中。二十二日午後一時衝
終後見ゆ。其時魚座テータ星の六度南にあり
此の日の前後 三週の間は此の遊星は觀測に
最も都合にして、其の位置と運行とは双眼
鏡で追ふ事が出来る。十三日午後一時月と合
(月の此一度三七分にあり) 十五日地球より
の距離二十八億五千二百四十六萬四千餘粒。
海王星 十五日赤經九時三五分 赤緯北一四
度四十分獅子座を逆行中。二十五日午後一〇
時四二分月と合(月の北〇度二二分にあり)十
五日地球よりの距離六億〇〇四十三萬五千餘
粒。

流星群 八月の流星多きに反し本月は出現數
減少す。本月の主なる輻射點は次の如し。

赤經	赤緯	附近の星	
八月—九月	四時八分	北三度	ペルセウス
八月—十月上旬	四時五十分	北四度	駱駝座 γ
二一日頃	三時四十分	北九度	牡羊座 α
二七日頃	〇時六分	北六度	アンドロメダ
中旬—下旬	一時五十分	北六度	魚座 α
星座	九月南中の		
一日	琴、鷲、封手		
十六日	白鳥、鷲、射手		